

# 那加二東部 福祉だより

第 18 号

平成14年8月1日発行

編集・発行

各務原市社会福祉協議会

那加二東部支部



社会福祉協議会那加二東部支部  
支 部 長 石 井 尚 志

## 「健康で長生きできるまちづくり」

今年の季節は十日位早く移り変っているようで、暑い毎日が続きますが、皆様ご健勝にてお過ごしのことと拝察致します。

平素は、社会福祉協議会の事業にご指導、ご協力を賜り誠に有り難うございます。

「温もりとやすらぎのある福祉のまちづくり」を基本方針に、ふれあい・いきいきサロン、福祉座談会、お年寄りを囲む会、高齢者健康づくり教室、親子ふれあい映画会、高齢者慰問などの支部社協の行事を進めていきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

那加二小校区の高齢化率は、十六・九%で市内小学校区別では五番目に老人の多い地区になりました。高齢者が多くても、

日常生活に介護を要することなく、自立して健康で暮らせる事が大切です。寿命全体のうち、あるレベル以上の健康状態で生

きられる期間を「健康寿命」と云います。WHOの調査によると、日本人の健康寿命は、男性で七十二年、女性で七十七年と世界最長でした。健康寿命を延ばすには、どうすればよいか、

国民健康保険中央会が全国の八十歳代の健康なお年寄り約三千人に生活習慣を調査しました。



- 八割以上の方に該当した項目は、
- ①食事は一日三回規則正しくとる
  - ②よくかんで食べる
  - ③野菜、果物など食物繊維をよく食べる
  - ④お茶をよく飲む
  - ⑤たばこは吸わない
  - ⑥かかりつけ医がいる
  - ⑦自立心が強い
  - ⑧気分転換のための活動をしている
  - ⑨新聞をよく読む
  - ⑩テレビをよく見る
  - ⑪外出することが多い
  - ⑫就寝、起床時刻が規則的である
  - ⑬身だしなみに気を使うなどでした。
- 生活習慣病に気をつけ、心身ともに活発に、人付き合いも多く楽しく暮らすことが、健康に長生きする秘訣のようです。社協の活動が、地域ぐるみで健康で元気に長生きできる組織づくりの一助になれば良いと考えています。



### 平成14年度各務原市社会福祉協議会那加二東部支部 事業計画

年月	日	活 動 内 容	年月	日	活 動 内 容
14年4月	24	支部理事会	10月	6	市民運動会共催 支部理事会
	24	支部会計監査		*	岐阜県社会福祉大会に参加 大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施
	*	大東町・信長町・門前2・桜2いきいきサロン実施		*	共同募金・歳末たすけあい月間(10~12月)
	*	桜町3丁目いきいきサロン開始		*	大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施
5月	14	支部役員総会	11月		各務原市社会福祉大会に参加
	30	社協支部長・推進員合同会議に出席		*	ひとり暮らし老人、高齢者を囲む会 大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施
	*	大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施	12月		歳末福祉座談会
6月	6	支部役員研修会		*	大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施
	26	地域介護講習会		*	大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施
	*	大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施	15年1月		大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施
7月	2	福祉だより第18号編集委員会	2月		福祉だより第19号編集委員会
	25	会費趣旨説明会		*	大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施
	*	大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施	3月		支部理事会
8月	1	福祉だより第18号発行(楡町1・2・3・4・5丁目)		31	支部役員総会
	1	親子ふれあい映画会(東部集会場)		*	福祉だより第19号発行(桜町1・2・3丁目・大東町)
	1~31	(青少年育成市民会議共催) 社協会員募集推進月間		*	大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施
	*	大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施		*	大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施
9月	8	市福祉フェスティバルに参加			
	*	高齢者慰問共催			
	*	(贈り物に子供が書いたメッセージを添えて) 大東町・信長町・門前2・桜2・桜3いきいきサロン実施			

### 会員募集にご協力を

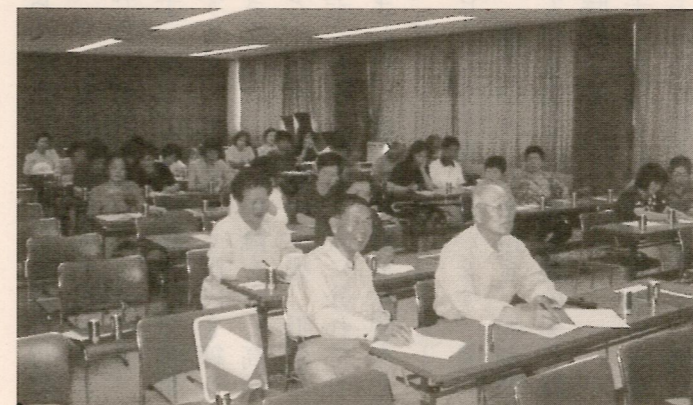
●八月は社会福祉協議会の会員募集月間です  
八月一日より、自治会を通じて社会福祉協議会の会員募集をおこないます。  
みなさまより集められた会費の40%が地域に還元され、那加二東部支部では、左記の活動を計画しております。  
会費は一般会員が五百円以上、特別会員が千円以上となっております。できるだけ社会福祉協議会の趣旨ならびに活動をご理解いただき、格別なご協力をお願い申し上げます。

特別会員	1,000円以上
一般会員	500円以上

### 平成14年度各務原市社会福祉協議会那加二東部支部 事業予算

収入の部		(単位:円)	
科	目	前年度予算額	本年度予算額
1	交付金	360,000	358,000
2	メニュー-事業助成金	410,000	480,000
	①親子ふれあいの会	16,000	16,000
	②お年寄りを囲む会	70,000	81,000
	③支部だより発行	160,000	147,000
	④会費趣旨説明会	5,000	5,000
	⑤ふれあいきいきサロン	159,000	231,000
3	歳末たすけあい事業助成金	120,000	120,000
4	その他の助成金	350,000	350,000
5	繰越金	198,015	195,295
6	雑収入	100	30
合 計		1,438,115	1,503,325

支出の部		(単位:円)	
科	目	前年度予算額	本年度予算額
1	事務費	8,000	3,000
2	通信運搬費	0	3,000
3	会議費	0	18,000
	①理事会	0	5,000
	②総会	0	10,000
	③役員会	0	3,000
4	共通実施事業費	405,000	400,000
	①福祉教育事業費	30,000	30,000
	②友愛訪問事業費	350,000	350,000
	③支部育成事業費	25,000	20,000
5	メニュー-事業	456,000	531,000
	①親子ふれあいの会	40,000	40,000
	②お年寄りを囲む会	80,000	96,000
	③支部だより発行	160,000	147,000
	④会員募集事業	5,000	5,000
	⑤ふれあいきいきサロン	159,000	231,000
	⑥地域介護講習会	12,000	12,000
6	歳末たすけあい事業	120,000	121,000
7	その他の事業費	257,000	257,000
	①市民運動会	230,000	230,000
	②青少年育成	10,000	10,000
	③老人クラブ	17,000	17,000
8	予備費	192,115	170,325
次年度へ繰越金			
合 計		1,438,115	1,503,325



△6月6日支部役員研修会東海女子短大から長瀬先生を招き「地域福祉」の講演を聞きました。



# 私の住む町から

## 雑感

楠町三丁目 小椋光彦

昨年十一月に自治会・子供会・老人クラブの共催で「三世代ふれあいの会」を開催しました。従来は自治会と子供会の二者で夏休みの後半に花火大会とか西瓜割り等を行って来ました。老人クラブは何となく蚊帳の外という感じでしたが、子ども会の方から「三世代ふれあいの会を開催したらどうか」と提案があり、自治会・子供会・老人クラブの役員の方々が何回も会合されて開催の運びとなりました。



何しろ始めての事なので内心

色々心配していましたが、皆さん積極的に協力され、殊に老人クラブの方々をお客様扱いすることなくゲームの審判や子供の世話等をお願いしたところ非常に楽しんで参加して協力頂けたのは何よりだったと思います。

一つ残念に思ったのは三世代ふれあいの会に中間の世代の方々の参加が少なかつたのが心残りです。

## わが町楠町に思う

楠町二丁目 自治会

楠町は、現在一丁目から五丁目（いわゆる俗称）に区分し、それぞれ自治会活動は個々に行われ、全体を楠町自治連合会と称しその運営を図っています。

その昔、昭和十二年に川崎重工業の前身である川崎航空機工業岐阜工場の社宅建築により「楠町」が誕生しましたが、当時は神戸から引越してきた川崎の従業員のみでした。そして町名の由来については、神戸にある湊川神社（戦前から忠臣として崇められた楠木正成が祀られている）の楠に因んで楠町と名付けられたと聞いています。永年住み馴れた神戸の地から、遠く岐阜へ来て故郷への思い

が強くあつたと伺い知ることができまます。

昭和三十八年に那加・稲羽・鶴沼・蘇原の四町合併により各務原市として発足する際にも、正式な町内地番等は変更することなく、運営上五つに分町され今日に至っています。

その後、楠町発足当時の三百戸を越えていた戸数も、少子化・高齢化による人口の減少により、今では二百七十戸程度に減ってきており、子ども会・老人会が楠町一本で運営されている現状から、自治会もその対応を考えなければならぬ時期にきています。

これからも永年基地周辺の町として、飛行機騒音に悩まされながらも、町内の枠を越えた人と人のふれあいを通じ、お互いに助け合いの心をもって、安心して住める町づくりをしていきたいものです。

## ふれあえば……

楠町二丁目近隣ケアグループ 代表 田中美枝子

楠町二丁目は楠町公園を囲むような位置に、五十四、五戸の家並みを配する小さいながらもまとまりのある町内です。その住民の半



数近くが七十才以上となり、昔から仲良く肩寄せ合せて暮らしてきた人達の多い町内です。私達ケアグループは身近な人達の日常の見守りと気配り、そして声をかけ合うことを一番に心がけております。年一回の親睦会は集会所でお弁当とお味噌汁という素朴な物ですが、余興には、年毎にマジック・日本舞踊・懐かしい歌のカラオケ、そしてフォークダンスもあつたりという趣向を凝らして楽しんでもらっております。

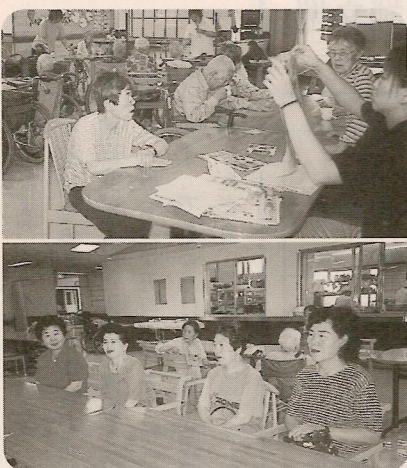
楽しかった親睦会に感謝の言葉を置いて帰っていかれる姿に、私達グループはこれだけの事ですが来年も又がんばろうと胸がふくらみます。多くの行事は出来ませんが、私たち一同は基本の見守りの活動の中から日常のふれあいを大切にし、一人でも多くの人と接することが、楽しい住みよい町に変えていく事ではないかと考えております。

## 近隣ケアグループに参加して

楠町五丁目 山田 智子

楠町五丁目の近隣ケアグループの仲間に入れていただき、月日が経ちました。

今朝も町内の、独居の方で庭仕事をされている御婦人に声をおかけしましたら、「いつ去るかかわからんで話しかけてね。」と返事が返って来ました。私としては、お近くの高齢者の方から、生活の知恵や、戦争中の苦勞話や子供の頃の事をもっと聞かせてもらい、次の世代に受け継いで行けたらと望んでいます。



私達ケアグループのメンバーも、毎年市の色々な老人施設に研修に出かけ、自分の老後の生き方を学ぶチャンスにさせてもらっています。また、秋の良い季節には、ケア

## 三世代ふれあいの会

楠・百寿会 古池三郎

十一月十一日(日)午後、楠町集会所にて三世代ふれあいの会が開かれました。

三世代が一堂に集まることは初めてです。自治会が中心になり、子ども会・老人クラブも参加し、プログラム作りや当日の準備をしました。

アトラクションとして①人形劇「琴座の物語」②南京玉すだれ③腹話術と紙芝居、演技者はボランティア活動されている経験豊富な方々です。殊に人形劇は、ライトアップされた人形の幻想的で美しい物語に、子供たちは食い入るように見ていたのが印象に残っています。次に、ふれあいのゲームとして輪投げ(クロリテイ)と豆運びをしました。子どもたちはすぐ上手になりました。歓声をあげて楽しんでいました。続いて私は昔話をしながら当時の唱歌、流行歌をハーモニカで演

奏しました。軍歌「戦友」のとき、哀調の歌詞とメロディーに耳を塞いだ子もいましたが、この様なマイナーの曲は耳慣れない音楽と感じながらも知れませんでした。最後に皆が知っている歌「夕焼け小焼け」を全員で合唱し解散しました。

今回は、交流を更に深める方法について、討議し、意義あるものにと考えています。



## お祭り

楠町四丁目 小野木武男

「ワッショイ、ワッショイ」「キンコン、キンコン」と元気な掛け声、太鼓・笛・鐘の音が響き渡り子どもみこしの出発です。

楠町では、毎年四月に連合会として祭礼が行われます。今年も好天に恵まれ四月十三日(土) 十四日(日)に開催されました。幼児



から小学生、幼児に付き添う母親達、子ども会、自治会の役員さん達で約八十名のおみこし連です。十二時三十分秋葉神社で神事をすませ、十四時より町内を練り歩きました。長い距離を歩く高学年と、短かい距離の幼児、低学年の子どもみこしの二組に分れてつりました。途中二ヶ所で休憩をとり、ジュース、お茶、コーヒ、缶ビール等を振る舞います。暑い中、重たいみこしを担ぎ、喉が乾いて声も出ない子ども達の楽しみの時間です。

子ども会としては、町内の人達とふれあう最大の行事です。何日も前からおみこしの飾り付けを行います。子ども会、自治会の役員の方々が、協力して団結することが出来る行事です。楽しい楠町連合会のお祭りを、今年も無事行うことが出来ました。